



個室ユニット 推進協ニュース Number 125

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

- 1面 30年度報酬改定を視野に組織力強化
30年度介護報酬をめぐる論議
国政ニュース、こちら傍聴席
- 2面 第12回社員総会・講演（骨子）
副会長就任挨拶
会員施設訪問
支部だより【沖縄・千葉】
新規入会施設のご紹介
施設紹介【知花の里】 沖縄県
- 3面 取組紹介【玄海園】 佐賀県
取組紹介【しらとり】 茨城県
【連載】 尊厳を守るケアの実践
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト
ズバリ回答！ 人事・労務のお悩み
用語解説【レスパイト】

30年度報酬改定を視野に組織力強化

中期活動計画（5か年計画）を策定 推進協第12回社員総会を開催

全国個室ユニット型施設推進協議会（推進協、赤枝雄一会長）は6月15日、東京・蒲田の大田区産業プラザコンベンションホールで第12回社員総会を開き、平成29年度事業計画案や役員改選案など8議案を承認した。中期活動計画（29～33年度）を策定し、社会情勢や制度改革、介護報酬などの変化に対応しつつ、個室ユニット型施設の健全な発展や科学的に裏付けられた質の高いサービスとケアを提供する2面に講演・意見を掲載した。



第12回社員総会

会員拡大と研修拡充

赤枝会長は開会挨拶で「30年度同時改定（診療報酬改定・介護報酬改定）が迫っており、推進協の活動をさらに強化する必要があります。自民党個室ユニットケア推進議員連盟との連携を強める一方、国会や政府に働き掛け、基本報酬の引き上げなどを実現させたい」と述べた。

議案審議では、28年度事業・決算報告、29年度事業計画及び収支予算案、役員改選案、定款・会則・運営細則の各変更案など全8議案を承認した。

事業計画によると、推進協の活動を強化するとともに質の高いケアを提供するため今年度を初年度とする「中期活動計画」（5か年計画）を策定し、会員の拡大やユニットケア研修事業の拡充などを目指す。役員改選では、新理事に柿本貴之氏（大分支部、陽谷福祉会常任理事）と功刀融氏（山梨支部、芳寿会理事長）の2人が就任

賠償責任保険を検討へ

第8号議案（その他）として田伏清・全国支部長代表から「社会福祉法人役員向けの団体保険の加入を検討したらどうか」との提案があり、三井住友海上火災保険が社福向け役員賠償責任保険の概要を説明した。社会福祉法改正で理事、監事、評議員などの責任が明文化され、損害賠償請求への対応が必要となっている。今後、保険の範囲や内容などを検討し、結論を出すことになった。

「介護の質」向上を

報告事項では①総務企画・広報委員会（栗野裕治委員長）、介護保険委員会（藤村二郎委員長）、研修委員会（井手明利委員長）の各委員と支部長（30名）②新規入会施設（11施設）③プライバシーマーク取得の進捗状況の3点が報告された。

この後、第10回全国研修大会 in 新潟2016（28年11月開催）に尽力した新潟支部会員に対し、赤枝会長から表彰状が贈られた。第11回大会は10月11～12日、岐阜市で開催される。閉会の辞で野邊正涼副会長は「介護報酬改定の行方と「介護の質」の向上が注目されており、推進協として活動の強化とユニットケア研修の拡充が極めて重要だ」と強調した。

WAM委託に変更 経営実調

平成29年度執行委員会
社員総会に先立ち、執行委員会が開かれ、28年度事業報告及び決算報告や委員会

人事、eラーニング導入の進捗状況（以上、報告事項）、賛助会員制度導入（協議事項）、経営実態調査の在り方、社会福祉法人改革に伴う役員会の団体保険加入（審議事項）を議論し、理事会へ報告することを決めた。

経営実態調査については推進協独自の調査から福祉医療機構（WAM）の簡易経営診断に切り替える。賛助会員制度の導入については取り巻く状況に考慮しながら内容を詰める。



執行委員会

総会8議案を了承

29年度第1回理事会

続いて理事会が開かれ、社員総会に提出する議案や協議事項、報告事項について議論し、総会に提出する8議案などを了承した。29年度全国研修大会（岐阜大会、10月11～12日）は600人程度の参加を見込んでいる。



第1回理事会

30年度介護報酬をめぐる論議（報告）

訪問リハ、口腔などを議論

6月7日 介護報酬改定に向けて①訪問リハビリテーション②居宅療養管理指導③口腔・栄養について議論した。厚労省は①退院後の早期リハや医師の関与②医療保険の「在宅時医療総合管理料」との整合性③介護保険施設の口腔衛生管理を進めるため歯科医や歯科衛生士の活用や栄養管理をどう考えるかなどを論点に挙げた。

委員から①「成果によって報酬にメリハリが必要だ」②退院後の早期リハが重要③「加算を考へてもよい」などの意見が寄せられた。

第7期事業計画の基本指針

第71回介護保険部会

6月21日 厚労省が示した第7期介護保険事業（支援）計画（30年度～32年度）の基本方針案を了承した。改正介護保険法の成立を受けて都道府県や市町村が策定する事業計画（支援計画）の考え方が一部変更・追加された。

国政ニュース

◎骨太の方針2017 閣議決定

6月9日 政府は「経済財政運営の基本方針（骨太の方針2017）」を閣議決定した。

介護関連では科学的介護や共生型サービスの推進、自立支援に結果を出した事業者へのインセンティブ付与などを盛り込んだ。

◎通常国会が開会

改正介護保険法など成立

6月18日 第193回通常国会が開会した。成立した法律は①改正介護保険法等（一部3割負担など）②改正民法（契約ルール）③天皇退位特例法（天皇1代限りの退位容認）④改正組織犯罪処罰法（共謀罪にテロ等準備罪を新設）など。

ウの目タカ目

「こちら傍聴席

◎五里霧中

○：「自民党との徹底した議論が不足していたと痛感している」。会期末が近い6月16日、塩崎恭久厚労相は飲食店での全面禁煙を目指す「受動喫煙対策法案」（正式には健康増進法改正案）の国会提出を見送ることを表明した。たばこ議員の激しい抵抗に遭ったためだ。

○：「予想通り」とベテラン政治部記者が切り捨てた。自民党のたばこ議員連盟はざっと280人、自民党現職議員の約7割を占める。バックには全国たばこ販売協同組合連合会や全国たばこ耕作組合中央会などの支援団体がある。地域の有力者が多く、政治力は日本医師会に匹敵するという。たばこ関連税収2兆円も無視できない。

○：「たばこの健康被害が医学的に立証され、しかも日本人の喫煙率は2割弱に過ぎないのに」と若い社会部記者は憤る。世界保健機構（WHO）によれば、日本の受動喫煙防止対策は世界最低レベル。受動喫煙がなければ年間1万5千人が死なずにすんだというデータもある。議論は第2ラウンドに持ち越されたが、五里霧中の情勢は変わらない。（稿）



第12回社員総会・講演(骨子)

医療ニーズへの対応を重視

内山徹氏

(厚労省高齢者支援課・課長補佐)



改正介護保険法を説明する内山補佐

テーマは「介護保険制度改正・報酬改定に向けた動向について」。成立した改正介護保険法には5本の柱(保険者機能強化や3割負担導入、総報酬割の導入など)があり、持続可能な制度にすることが目的だ。30年度介護報酬改定に向けて厚労省は検討事項として特養の医療ニーズや看取りへの対応などを示している。

外国人実習生受け入れを

須田雅人氏

(赤枝病院・病院長)



外国人雇用について話す須田病院長

テーマは「ベトナム看護師を介護福祉士に!」。外国人技能研修制度の見直しで今年11月1日、介護職が解禁される。ベトナム看護師は勤労意欲が高く、宗教の壁もなく、日本の介護福祉士に適用している。送り出し・受入れのシステムを構築する必要がある。

ロボット活用で拓く

山下俊紀氏

(さがみ介護ロボット開発支援センター所長)



介護ロボットについて語る山下所長

介護・医療ロボットの課題点として安全性の担保や廉価な価格設定、開発者とユーザーへのギャップなどがある。鉄則は安価で最少の手間だ。開発現場では簡単に安いものを作り出す努力が求められている。

第12回社員総会・議案一覧

- 【第1号議案】 28年度事業報告及び決算報告
- 【第2号議案】 29年度事業計画及び収支予算案
- 【第3号議案】 役員改選について
- 【第4号議案】 定款変更について(現状に対応)
- 【第5号議案】 理事及び監事の報酬等
- 【第6号議案】 会則変更について
- 【第7号議案】 運営細則案について
- 【第8号議案】 その他(団体保険加入について)

副会長 就任挨拶

理事会で3名が新副会長として6月15日付で選任された(敬称略・五十音順)。その結果、副会長は6名。



栗野裕治氏 八生会 理事長

当協議会は特養個室ユニット型を中心に平成17年に設立され、12年が経過しようとしています。これまで介護保険制度、報酬改定等について様々な意見要望を行い、ユニット型施設の充実に努めてまいりました。

特養個室ユニットはハード面の良さだけでなく、そこで生活されているご利用者やご家族にとりましても安心安全で最適な施設であると思います。

施設から在宅への政策が進む中で、10年後20年後も特養個室ユニット型施設の必要性、重要性があり、その期待に応えていかなければなりません。

今後も介護現場からの声に真摯に向き合い、当協議会の発展と副会長としての職責を全力で果たしてまいりたいと存じます。



田伏清氏 バルツァ事業会 理事長

今期の新体制より副会長を拝命致しました。また、現在やり掛けの全国支部長

会代表もそのまま継続させて頂く事に成りました。

同じ副会長に就任されました安江理事長様には全国支部会の代表と副代表との役割にて文字通り二人三脚で長年の間お助け頂きました。これからも宜しくお願ひしたいと存じます。

今後、赤枝会長を中心に一步一步、築き上げてこまごまと来た組織を会員皆様と一緒に前進させて行く事であると考えています。

さすがに還暦を超えて参りますと、施設職員メンバーとの間より利用者の皆様との距離の方が圧倒的に近い訳でありますので、今からアスリートになるのは無理ですが、心意気だけは全日本代表選手気分頑張つて参りたいと思っております。

今後とも何卒宜しくお願ひ申し上げます。



安江紀子氏 幸紀会 理事長

あの、赤坂プリンスでの発足の日から、赤枝会長御夫妻の強いリーダーシップにお支えいただき、今日を迎えることの出来ました推進協議会ですが、この中であつて私自身、何の御恩にお報いする手だてもなく、ご迷惑のみおかけいたしました。

現在は、全国研修大会 in 岐阜 2017(10月11~12日)の準備を進めております。多くの方のご来場をお待ちしております。

総会におきまして、思いがけないお役をいただくことになりました。しかし、これは「到底私ごときの出させていただく幕ではない」と大きなためらいを感じましたが、「次世代の女性役職者への引継ぎ役として」のお言葉を頂戴し、少し気持ち楽になりました。

微力ではございますが、推進協議会員の一人として、誇りをもって務めさせていただきますようお願い申し上げます。御指導賜りますよう、お願ひ申し上げます。

☆会員施設訪問☆

燦燦(さんさん)



6月23日、井手明利ユニットケア研修推進事業室長は、第11回全国研修大会 in 岐阜2017の第9回実行委員会に出席するため、実行委員長で岐阜支部の燦燦(加藤洋治施設長)を訪問した。



井手室長と安江理事長

実行委員会には、19施設25名と事務局本部2名、日通旅行岐阜旅行センター2名が参加した。安江紀子大会長と井手室長が挨拶し

その後、後藤喜代司氏(燦燦事務局長)が広告・協賛金や展示ブースなどの申し込み状況について報告し、「協賛金については今後も引き続き集めていきたい」と話した。

その後、加藤実行委員長が大会当日の役割分担について説明し、各分担ごとに打合せを行った。参加申し込みは、日通旅行岐阜旅行センターが窓口となり、ホームページとFAXで7月上旬から受け付けることに決まった。



第11回全国研修大会 第9回実行委員会

岐南仙寿うれし野



6月23日、井手明利ユニットケア研修推進事業室長は、岐阜県羽島郡岐南町にある会員施設の岐南仙寿うれし野を訪問した。近石千恵美施設長と吉田昌孝介護主任と人材育成などについて話し合った。近石施設長は「年々新たな行事も加わり忙しくなっていますが、いかなる時も、和顔愛語」をモットーに穏やかで和を大切にする風土になりつつあります」と語った。



井手室長と近石施設長

支部便り

沖縄支部

29年度沖縄ネットワーク会を開催

6月22日、沖縄支部(上里絹代支部長)は、東雲の丘(石島薫施設長)のコミュニティホールアクロポリスで、ユニットケアを推進する施設の多職種向けのネットワーク会を開催し、13施設53名が参加した。

前黒島智司氏(東雲の丘・介護サポーター次長)が「重度の入居者に支援する個別ケア(ユニットケアの考え方)」について、上里支部長(東雲の丘・研修部長)が「ユニットケアで展開するボランティアの活用」について講義した。

その後、グループワークを行い「①人事考課②職場づくり③カンファレンスの開催方法、時間帯④職員間の申し送り」をうまく全員に伝達する方法について話し合った。



沖縄支部ネットワーク会

千葉支部

29年度千葉支部総会開催

6月29日、千葉支部(濱野直紀支部長)は、さつまの里(濱野直紀施設長)で、平成29年度千葉支部総会を開催し、12施設24名が参加した。総会前に、ランチ座談会で施設間の交流を図り、その後さつまの里の施設見学を行った。

総会では、28年度の事業報告・決算報告を行い、支部会則の改正を承認した。

また、29年度の支部研修委員の委員長として星山直子氏(さつまの里)、副委員長として加藤修二氏(しようじゅの里茂原)と野口裕二氏(千の風・清澄)を選任した。

29年度千葉支部ネットワーク会は30年2月に開催し、会員施設の事例発表会を行う予定。企画準備は研修委員会を中心にWEB会議で進めることに決めた。



千葉支部総会

プライバシーマーク取得!

推進協は平成28年度からプライバシーマーク取得に向けて取り組んでまいりましたが、6月28日にプライバシーマーク付与資格が決定しました。

5月に改正個人情報保護法が施行され、ますます個人情報保護に関心が高まっておりますので、より一層、会員の皆様や研修受講者の皆様の個人情報情報を適切に取り扱ってまいります。(事務局)

新規入会施設のご紹介

◆(特養) 倶有

支部名 北海道支部
法人名 社会福祉法人 函館大庚会
法人代表者 理事長 今均
施設代表者 施設長 三谷真理
住所 〒040-0100 35
北海道函館市松風町19-18
電話 0138(24) 2255

◆(特養) 馬室たんぼ翔裕園

支部名 埼玉支部
法人名 社会福祉法人元氣村
法人代表者 理事長 神成裕介
施設代表者 施設長 赤坂弘美
住所 〒365-1004 3
埼玉県鴻巣市原馬室335番
電話 048(541) 4148

沖縄県

社会福祉法人 沖縄にじの会
特別養護老人ホーム

知花の里



～地域づくりに貢献し、生きがいを持って暮らせる施設を目指して～



完成した
成年祝い用の盛り花



「いいにおい」「きれいだね」と
楽しそうに盛り花を作成

【なんくる会】
知花の里にはいろいろな活動をする「なんくる会」というサークルがあります。
2月には週末に各ユニットで行われる「成年祝い」用の盛り花を作りました。「やったことないさー」と不安そうなサークルメンバーの表情は、作業が進むにつれ、笑顔に変わりました。作品の見事な出来栄に職員も歓声を上げるほどでした。



施設外観

【施設の紹介】
知花の里は2015年5月に開設し、今年で3年目を迎えます。施設は沖縄市の北側、沖縄北ICから5分ほど南下した知花地区にあります。緑豊かな自然に囲まれた閑静な高台からは、知花の集落を一望することができます。
旧盆になると「エイサー」の太鼓やサンシン、パーランクーの音が聞こえ、また、豊作を祝う女性のみで踊られる集団舞踊「ウシデーク」など伝統芸能も盛んです。



収穫したトマト

空き瓶で生地伸ばし

【にじ畑】
今年もまた、菜園「にじ畑」のゴーヤーやトマト、パパイアの実が大きく育ちました。
3月にはトマトを使って、ユニットでピザ作りをしました。男性入居者様も積極的に参加してください、ピザ生地を力強く捏ねたり、空き瓶を利用して生地を伸ばしてくれ



完成した作品は1Fエレベータ前に展示



子どもたちがすくすく育つことを願って作品作り

【毎月恒例の創作活動】
毎月、手工芸がお好きな入居者様と一緒に創作活動をしています。5月は「空高く泳ぐこいのぼり」をテーマに、6月は「梅雨のなかのあじさい」をテーマに作品を作りました。

畑を耕すことは難しくても、車椅子からの水遣りや、日に日に大きくなっていく野菜を楽しむに眺めるときの入居者様の表情は、穏やかで幸せが感じられます。
施設での夏祭りや敬老会は、入居者様のご家族によるサンシン演奏でのカチャーシーや知花地区青年会によるエイサーなどで盛り上がりました。これからは地域の方々との協力し、よりいっそう暮らしやすく活力あふれる地域づくりに貢献しながら、入居者様が生きがいを持って生活できる施設にしていきたいと思っています。



上田施設長

【上田美智子施設長から】



数年ぶりの魚釣りに大満足



化粧品コーナーでお化粧品してもらい一段と素敵に

【外出支援】
個人の想いを大切にしたい外出を計画しています。例えば、デパートの化粧品コーナーへ出かけたり、魚釣りに出かけたりと入居者様がやりたいこと、行きたい所を聞き、集団ではなく個別の外出支援をしています。

〒904-2143 沖縄県知花 5-23-16 TEL: 098-923-5020 FAX: 098-923-5021

【特養】 9ユニット、90床

【連載】第3回 尊厳を守るケアの実践

個別ケアについて考える

高齢者施設での生活支援は介護保険とともに大きく変化しました。施設は、本人・家族に対して文書でサービス内容を示し、説明と同意を得たうえで、契約により実施することとなっています。そして、高齢者の尊厳を支えるケアに向け、高齢者がたとえ要介護状態になったとしても、その人らしい生活を自分の意思で送れるように支援することとされています。

職員はどのような視点をもって入居者の生活を支援していくとよいのでしょうか。入居者の望む暮らし、自立した生活を考えた時、毎日の生活に必要な食事・排泄・入浴などの身体的支援だけではなく、精神的な支援を含み、入居者の持つ潜在能力を活かして、自立した生活を支援することが求められています。

そのためには、これまでの生活歴や人観、価値観を知り、入居者個々の生活意欲を引き出すことが大切となります。



それでは実践に向けて考えていきたいと思います。ユニットケアの運営基準には、
①意思及び人格を尊重
②サービスの提供に関する計画に基づく
③入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続
④相互に社会的関係を築き自律的な日常生活を営むとあります。職員がそのことを意識し実践していくことが、尊厳ある暮らしの支援につながります。

介護現場は職員の少なからず慌ただしく毎日過ごしていますが、入居者視点を忘れずに生活を支援していくことが重要です。

(ユニットケア研修推進事業室室長 井手明利)



社会福祉法人 天寿会
玄海園 (佐賀県)
施設長: 古川伸子

タイムリーに入力 記録の合理化

介護記録は永遠のテーマですね。昨年度からシステムの検討と合わせ、本腰を入れて記録のマニュアルプロジェクトチームが法人を挙げて立ち上げられました。

今はiPad操作も慣れたものです。世の中にスマートフォンが普及して良かった。空いた時間でユニットの入居者さんと一緒にティータイムなんかできちゃいます。

法人内でも水平展開実施中! (介護課主任: 松本愛)



iPadと「にらめっこ」



「記録」の勉強会



現場での研修風景



社会福祉法人 征峰会
しらとり (茨城県)
施設長: 埴律雄

3事業所合同の運動会 まごころまつり



みんなでがんばるぞ!

当法人には特別養護老人ホームの他にデイサービスとショートステイの事業所があります。その3つの事業所合同で毎年6月に運動会を行なっています。それが題名になっている「まごころまつり」です。

この行事は今年で7回目を迎えました。参加人数は特養入居者約70名、デイサービスのお客様約100名、ショートステイのお客様35名、これに職員やボランティアの方々を加えて総勢約360人が参加されました。

赤、青、黄、白の4チームに分かれ、優勝を目指し5つの競技を行います。中には職員とボランティアの方々だけの綱引きや4チーム一同に参加するお手玉を投げ入れる競技などがあり、毎年入居者の方々やお客様の方々に喜んで頂いております。

機会があればぜひ遊びに来てください! (介護課長: 吉田育)



早く回してね!!



美味しそうなパンだね!



